

「安心カード」の使い方

「安心カード」は、自宅で体調が悪くなり救急車を呼んだとき、適切な判断と応急処置ができるほか、病院などが、親族・親戚などにすぐに連絡がとれる安心・便利なカードです。

- ① 詳しく記入し、専用容器に入れる



- ① 詳しく記入し、専用容器に入れましょう

「安心カード」は、住所・氏名のほか、医療情報や緊急連絡先などをできる限り詳しく記入し、プラスチックの専用容器に入れましょう。

また、健康保険証(写し)・診察券(写し)・薬剤情報提供書(写し)・お薬手帳(写し)も一緒に入れておくと、いざという時に役立ちます。

- ② 冷蔵庫のドアポケットに保管する。



- ② 冷蔵庫のドアポケットに保管しましょう

「安心カード」などを入れた専用の容器を、冷蔵庫のドアポケット(飲みものなどを立てて入れる場所)に保管しましょう。

- ③ マークを「冷蔵庫のドア」と「玄関ドアの内側上部」に貼る。



- ③ 「安心カード」のマークを、「冷蔵庫のドア」と「玄関ドアの内側上部」に貼っておきましょう

「冷蔵庫のドア」と「玄関ドアの内側上部」に「安心カード」のマークを貼っておきましょう。

マークが貼ってあると「安心カード」が冷蔵庫に入っていることを、すぐに確認できます。



- ④ いざという時に救急隊員が確認します

万が一の場合、冷蔵庫から「安心カード」を取り出し、医療情報などを確認することで、適切な判断と応急処置ができるほか、病院などが、親族・親戚などにすぐに連絡をとることができます。

- ⑤ 年に一度は見直しましょう

古い情報では適切な処置を受けられませんので、年に一度は見直しましょう。「安心カード」の用紙は、毎年交付します。